

① ディレクトフォース

今回私は三菱商事に行き、大変貴重な話を聞くことができた。まず、初めに、社員の方々の対応が素晴らしいと思った。社会人としての態度、礼儀などを見て、社会で生きていく上での礼儀などの重要性を改めて感じた。

また、グループでのディスカッションでも得るものがたくさんあった。一つ目は、「日本の常識、世界のジョーシキ」というテーマで、日本と海外の違いなどについてディスカッションを行った。私は日本と海外ではコミュニケーションの取り方に違いがあるという印象を持っていた。日本人よりも海外の人のほうが主張が強く、はっきりと意見を言うイメージである。実際に社員の方に聞いてみるとそのような傾向がある、とのことだった。そして、だからこそきちんと主張することが大事だそうだが、礼儀はわきまえなければならない。「礼儀を持って主張する」ことが、海外でのコミュニケーションでは大切だそうだ。

二つ目は「高校時代に培う力」というテーマでディスカッションを行った。ディレクトフォースの方は、目標を持ち続けることが大事、と言っていた。何かに夢中になって打ち込み、挑戦する、その経験が社会人になってから生きてくるとのことだった。この話を聞いて、私はこれからも自信を持って様々なことに挑戦していきたいと思った。ディレクトフォースの方が言っていた、「失うものは何もない」という心構えを忘れずにやっていきたい。

今回、三菱商事の本社で社員、ディレクトフォースの方々の話を聞けるという、またとない経験をすることができて本当によかった。将来に向けての大切なこと、人生観まで聞けて、自分の中での考え方にも少し変化があった。このような貴重な経験を少しでも、自分の将来につなげていければ、と思う。

② 企業大学訪問

私たちのグループは、東京工業大学伊原研究室を訪問した。伊原研究室は化学工学のエネルギー変換について研究していて、太陽電池、燃料電池の開発を行っている。

まずはじめに、研究室を見せていただいた。研究室にはたくさんの装置があったが、手作りのものが多かった。その理由は、オリジナルの研究はオリジナルの装置を使わないと出来ない、からだそうだ。そのような考え方はあまりなかったが、最先端の研究には、やはり、色々な視点が必要だと思った。

太陽電池、燃料電池についても分かりやすく説明していただいた。驚いたのは東京工業大学の環境エネルギーイノベーション棟は南側と西側の外壁は太陽電池で埋め尽くされ、屋上には燃料電池が設置されていることだ。話によると、太陽電池だけでも650KW、大学内の全ての発電設備を合わせると、1100KWも発電しているとのことだった。

その後、東京工業大学の研究生の方々に色々な話を聞くことができた。

Q 専門的な研究をしていく上で、必要な力はどのような力だと思いますか？

A 研究はテーマを決め、資料などから情報を得て、それをもとに実験する。

それを繰り返し、結論を出す。しかし研究にはもともと答えはなく、自分で答えを見つけなければならない。それには、「基礎的な知識」が必要である。基礎的な知識を持ち、真面目に継続していくことが大事だと思う。私はこれを聞いて、やはり研究には継続する力、根気が必要であると思った。基礎的な知識をつけるには、高校で勉強し、大学で勉強する。それも継続だと思うし、研究そのものも答えが分からない、答えがないかもしれないことを考えることも、やはり根気がないと、できないと思う。まさに「継続は力なり」とはこのことだと思った。

Q 高校生の間にやった方が良くと思うことは何でしょう？

A 部活や自分のやりたいことをやった方が良く思う。勉強は一日少しずつでも継続的にやるのが良く思う。

三菱でも言われたが、好きなことに打ち込むのは大事だと思う。後悔のないように高校生活を送りたいと思った。また、継続は研究していくためには本当に必要なのだと思う。他にもたくさん質問をしたが、東京工業大学のみなさんは、とても親切に答えてくれた。

また、研究室の雰囲気も良く、良い研究は良い環境から生まれるのだと思った。

③ OBOG による懇談会

OBOG による懇談会では、先輩から色々なアドバイスや、経験談を聞くことができた。まず、一つは「目標は早く高く」ということだ。早くから目標を持つことで、先を見据えて計画を立てて勉強することができる、ということだ。その計画を立てる上で大事なものは色々試すことだという。試行錯誤して自分に合った勉強法を見つけ、程良い計画を立てることが大事だそう。

二つ目は、「勉強はいつまでも続く」ということだ。大学でも特に理系は大学院まで進み、勉強はいつまでも続く。そして、だからこそ時間の使い方が非常に大事だという。具体的には、優先順位をどうつけるか、ということだ。全てを完璧にすることは不可能だから、何を優先すべきか、ということ常々考える必要があるということだ。時間の使い方は、勉強が続く限り、ずっと大事なので高校のときから、身につけていきたいと思った。

三つ目は「目指してみる」ということだ。目指さなければ達成できることはない。だからまず目指してみる、ということだ。確かに、無理と決めつけていては上にはいけないと思った。一つ目と重なる部分もあるがやはり、志を高く持つことは、それだけ重要なのだと思った。

この懇談会では、先輩の生の声が聞けて、学ぶことも多かった。今回の助言を参考にして、目標を立てて努力していきたい。

④ 東京大学見学会

今回私は初めて東京大学に行った。まず私たちは理学部に行った。理学部では研究室を回ることができた。そのときにまず思ったのは、設備が良いということだ。中には一億円ほどするというものもあった。研究をするのにはとても良い環境だと改めて感じた。

その後も色々なところに行って色々なものを見たが、今回一番の収穫は東京大学に行くことができ、東大生と話すことができたことだ。

今まで、東京大学はテレビなどでしか見たことがなく、身近な大学ではなかった。しかし、今回東京大学に行けたことで東京大学も他の大学と同じ

ように一つの大学なのだ，と思うようになった。東京大学にも他の大学と比べて優れている点，劣っている点があることも改めて分かった。

今回の東大見学会は，二日間という短い時間だったが，とても充実した二日間だった。自分の中での意識や，考え方も新しい視点によって，変わった部分があった。今回の経験は本当に人生の中でも経験できない貴重なものだと思う。まだ将来のことは分からないが，この経験はおそらく生きてくると思う。このような機会をつくっていただいた先生方をはじめ，三菱商事の方々，東京工業大学の方々，二高 OBOG のの方々，全ての人に感謝の気持ちを持って，進路実現にむけて努力していきたいと思う。